

図書館員のひみつの本棚 第5回

みなさん、こんにちは！9月になりましたね。9月23日（土祝）はエルガーラで「福岡市子ども読書フォーラム」が開催されます！図書館では100冊の絵本を司書が読む「図書館員が選んだ100冊の絵本の展示とよみきかせ」というイベントを7階のギャラリー2で行います。誰でも無料で自由参加できます。10時15分から4時まで、いつきても読み聞かせが行われています。100冊も本当に読むの??もちろん読みます！福岡市の司書25名で順番に100冊全部読む予定です。ご来場の方には1冊ずつの本の紹介が載った冊子も配布しています。ぜひぜひご家族でご来場ください！今月は「子ども読書フォーラム」に合わせて、図書館員が選んだ100冊の絵本の中からお勧め2冊を紹介しますね。もちろんこの2冊も読みますよ！

『ラチとらいおん』

マレーク・ベロニカ ぶん、え とくなが やすもと やく

福音館書店 1050円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年★★★ 小中学年★☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学☆☆☆
高校☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

よわむしで、ともだちもないラチという男の子のところに、ある日、ちいさな、あかいらいおんがきました。らいおんはラチをつよくしてくれるというのです。らいおんといっしょにたいそうをしたり、らいおんをポケットにいれてでかけたりするうちに、ラチはどんどんよわむしではなくなって、ついにいじわるののっぽからみんなのボールをとりかえすことができました！およろこびでラチはらいおんにおれいをいおいうとポケットに手をつっこむのですが、そこにあっただのはあかいらいごだったのです！らいおんはどこへ行ってしまったのでしょうか？うちにかえると、らいおんからラチへのてがみがありました。そこにはなんてかいてあったのでしょうか？

<子どもに手渡すときのポイント>

とても楽しいおはなしですが、少し本が小さいので少人数の子どもに適しています。最後の手紙の場面が一番心に残る場面なので、ぜひらいおんの気持ちになって読んでみてください。



『チムとゆうかなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ さく せた ていじ やく 福音館書店 1365円
絵本

＜お勧め年齢＞

幼稚園★☆☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★☆ 中学☆☆☆
高校☆☆☆

（★が多い年齢の子どもにお勧めです。）

＜本の紹介＞

チムはちいさな男の子ですが、ふなのりになりたいと思っていました。そしてある日、しりあいのボートのおじさんにおきにとまっているふねにつれていってもらったとき、こっそりかくれて、ふねにのこってしまいます。チムをみつけたせんちょうはとてもおこりますが、チムが船員（せんいん：ふなのりのこと）のてつだいをしてよくはたらくので、チムはみんなとなかよくなります。そんなある日、あらしがやってきました。まよなか、ふねはいわにぶつかりしずみはじめます。船員たちはきゅうめいボートでだっしゅつしますが、チムはとりのこされてしまいます。そして、もう一人ふねにのこった人がいました。せんちょうです。せんちょうはじぶんのふねをすてないでがんばっていたのです。チムとせんちょうはしっかりと手をにぎってさいごをまちますが、いよいよなみにのまれようとしたとき、チムがよろこびのこえをあげました。きゅうめいボートがみえたのです。

＜子どもに手渡すときのポイント＞

15分近くかかるので、あまり小さい子には難しいかもしれません。また「きせん」や「こうかい」などなじみの少ない言葉も多く使われているので、小学生からがお勧めです。長い絵本ですが、その分展開もおもしろく、船が沈む場面などは目が話せません。絵の中に台詞が書き込まれているのですが、よみきかせの時は絵の中に書いてある台詞は読まなくてもいいかもしれません。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか